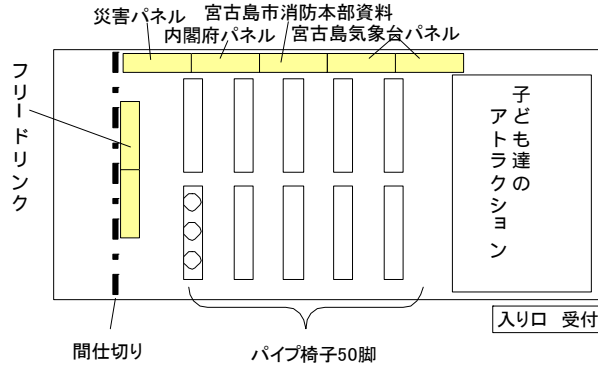


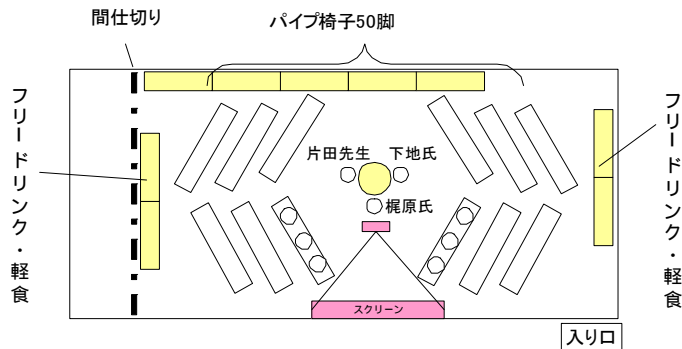
開催名称	ぼうさいカフェ in みやこじま
タイトル	おとなはなぜにげないのか？！
日時	平成 19 年 11 月 9 日（金）18:00～20:30
場所	宮古島市中央公民館 （沖縄県宮古島市平良字下里 15 番地） 中央公民館では環境に関する勉強会や合唱の練習等、市民によるサークル活動が活発に行われている。
開催形態	祭祀映像の鑑賞・解説、およびクイズを交えた勉強会形式。 明和の大津波が起源となったと言われる祭祀「ナーパイ」の映像上映および解説。地震・津波について、クイズを織り交ぜながら解説を行った。 解説：片田敏孝氏（群馬大学大学院教授） 映像解説：下地一雄氏（宮古テレビ株式会社） 司会：梶原健次氏（宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち）
主なプログラム	18：00 開会宣言 18：00～18：04 開会の挨拶（宮古島市、内閣府） 18：04～18：06 片田氏の略歴紹介 18：06～18：08 片田氏の挨拶 18：08～18：30 砂川地区子ども達による演舞 子ども達に踊りを演じてもらい、地域におけるコミュニティ活動の重要性を再認識。 18：30～18：45 休憩（飲物、軽食） - 席替え - 18：45～18：50 ナーパイの説明、撮影当時の状況など 18：50～19：15 ナーパイの上映 地元テレビ局が約 20 年前に撮影した祭祀の映像を、解説を交えながら上映。 19：15～20：30 片田氏、下地氏、梶原氏の対談 災害や避難についてのクイズを交えながら対話。 20：30 閉会宣言
特徴的な点 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・直前（当日の日中）の打ち合わせで、関係者全員が揃ってカフェでの話題を確認できたため、進行をスムーズに行うことができた。 ・現地を片田氏に知って頂くため、少し早い現地入りをお願いした。これにより、前日の夜に「こどもぼうさいカフェ」を開くことができた。 ・現地での調整窓口として宮古島市役所の多大な協力が得られ、自治会の子ども達や学校等への連絡・調整を行って頂けた。この成果は大きい。 ・地域の活動団体や報道機関等に精通した地元のキーマンに出会うことができ、調整機関等をご紹介頂いたため、スムーズに準備することができた。「地域の玄人」を見つけ出すことがカフェを開催する上で成否を分けることにつながる。 ・事務局として初めて使用する施設であったため、音響や映像設備を地元業者に任せた。これにより当日の準備に手を取られることなく開催できた。 ・カフェ当日も公設市場や人の集まる場所でピラ配りを行い、直接配った方にも参加して頂くことができた。

会場レイアウト

1 砂川地区のこどもたちによるアトラクション (クイチャー)



2 「ナーパイ」の上映、3 片田先生との対話 (カフェ)



チラシ

感想カード

問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7
問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14
問15	問16	問17	問18	問19	問20	合計
						ポイント

ポイントをもらったら○を、もらえなかったら×を書いて下さい

クイズ用スコアボード

主催・共
催・後援・
協力等

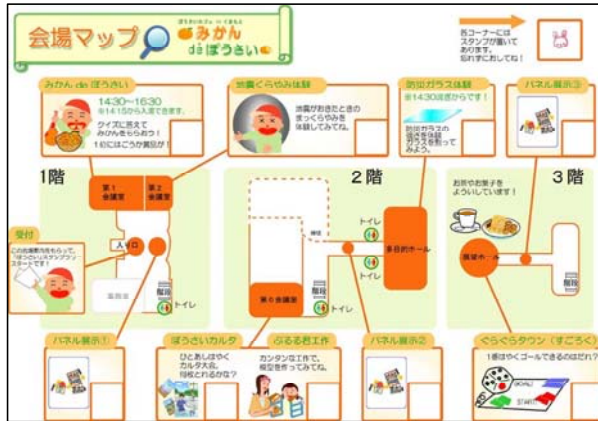
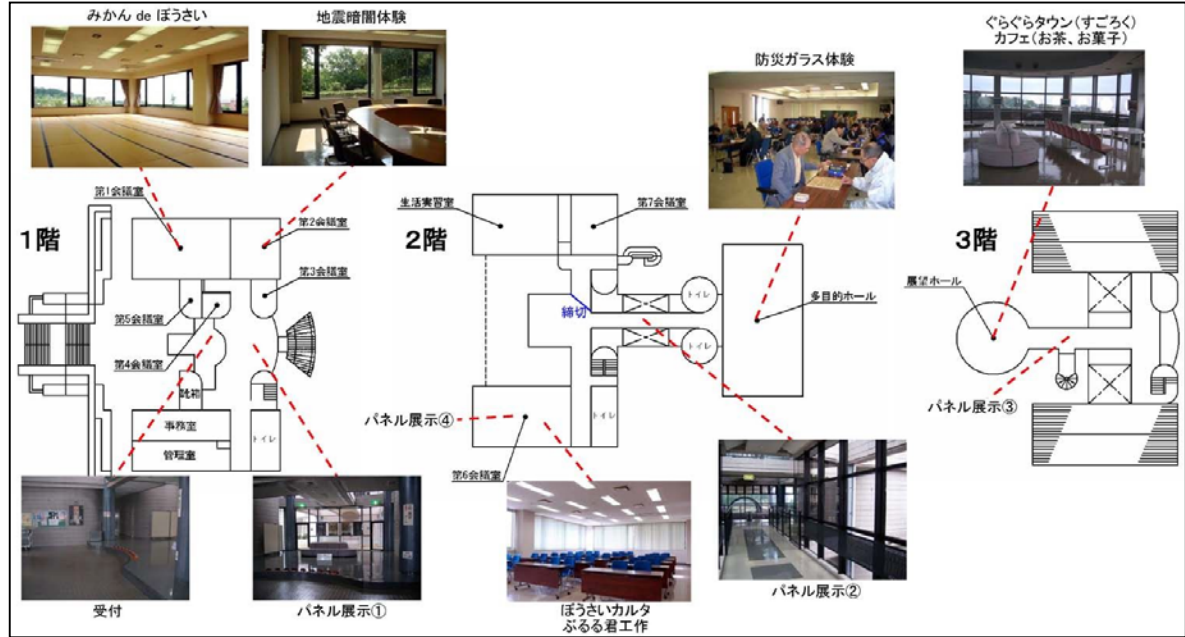
【主催】内閣府、宮古島市、防災推進協議会
 【後援】宮古支庁
 【協力】社団法人宮古観光協会、社団法人宮古島青年会議所、宮古テレビ株式会社、宮古島海上保安署、宮古島漁業協同組合、宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち、宮古島市消防本部、宮古島地方気象台

報道等

【テレビ】NHK 沖縄放送局 (11月10日放送)、宮古テレビ (11月10日放送)
 【新聞】宮古新報 (11月11日掲載)、宮古毎日新聞社 (11月11日掲載)、琉球新報社 (11月17日ホームページに掲載)、沖縄タイムス社

開催名称	ぼうさいカフェ in くまもと
タイトル	みかん ^で ぼうさい
日時	平成 19 年 11 月 24 日 (土) 14:30 ~ 16:30 (展示 13:00 ~ 17:00)
場所	熊本市みかんの里振興センター (熊本県熊本市河内町船津 7 9 1) みかんの里振興センターは、地域の公民館として住民交流の場に利用されている。また、災害時の避難場所にも指定されている。
開催形態	クイズ大会形式、ブース展示・体験形式の併用。 地域で過去に起きた災害を中心にクイズを作成。各専門家からの解説や災害経験者からの体験発表を行った。 司会：ばってん城次氏(地元タレント)、宮本初雄氏(熊本市危機管理防災室) 解説等：堀川治城氏(元河内小学校教諭)、山田浩志氏(熊本河川国道事務所)、宮本初雄氏(熊本市危機管理防災室)、中川久幸氏(元河内町助役)、西嶋壽男氏(熊本地方気象台)、坂本勘次氏(元漁協組合長)
主なプログラム	13:00~14:30 スタンプラリースタート(パネル展示、地震くらやみ体験 ぼうさいカルタ、ぶるる君工作、すごろく) 14:30~14:35 「みかん de ぼうさい」スタート 14:35~15:30 第 部 ぼうさいクイズ「まるごと くまもと」 15:30~15:40 休憩 15:40~16:30 第 部 ギモンにこたえる「ぼうさい しゃべり場」 16:30~17:00 「みかん de ぼうさい」終了、スタンプラリー継続 17:00 スタンプラリー終了
特徴的な点 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・司会は、地元の方言で話しをされるユニークなキャラクターの方をお願いすることができ、参加者に馴染みやすく会を進めて頂くことができた。 ・クイズの解答発表と共に、それぞれの専門家から解説を加えた。また、実際に災害を体験した地元の方から体験談を聞く時間も設けた。 ・参加者に専門家を身近に感じて貰うため、専門家にはひな壇ではなく参加者と同じ座敷で参加して頂いた。 ・クイズは比較的簡単であったが、難易度が高いと参加者のやる気もなくなるため、楽しく笑いながら参加できる程度であることが重要である。 ・全体を通してポイント獲得制とし、スコアカードにてポイントを競った。 ・ポイント高得点者には、防災グッズ等をプレゼントし、帰宅後、すぐに防災行動につながるよう配慮した。また、ポイントを獲得するとプレゼントがもらえることにより、会の盛り上がりを演出することもできた。 ・開催地の特性を出すため、地域の特産品を景品やお土産として使用することを考えた。農業協同組合や漁業協同組合に御相談したところ、みかん・海苔を快く無償提供して頂くことができ、参加者に喜んで頂けた。 ・未来への伝承という点で、若い世代にも来て頂きたかったため、大学の研究室やボランティア団体等への参加の呼びかけを積極的に行った。 ・子どもから大人まで防災に興味を持ってもらうため、くらやみ体験やすごろく・カルタ等を実施し、遊びながら楽しく防災に触れる場を演出した。

会場レイアウト



パンフレット (会場マップ)

ぼうさいカフェ in くまもと
みかん de ぼうさい

「ぼうさいカフェ in くまもと」では、みんなで、みかんを食べたり、お茶を飲みながら熊本と防災にちなみクイズ大会で先人が乗り越えて来た災害や、災害に備える知恵を学び、これからの「わたしたちの熊本」の防災について楽しくおしゃべりをしたいと思います。みなさま、ご家族・お友達とらるってご参加ください!

司会: テレビでおなじみの ぼってん 城次さんです!

金峰山はいつも精進がばってんなあー
大人も子供も楽しめるコーナーが
あってよ!

「用みかん」と「防災」の関係のあつな? つかーし、熊本であつた「大地震」ってどげんとあー?

クイズの正解者に抽選品がもらえます!

と き 平成19年11月24日 (土) 午後2時30分~午後4時30分 (開演: 午後1時~開演: 午後5時) 参加無料! (先着50名様まで)

と ころ 熊本市みかんの里振興センター (熊本市河内町影津791)

主催: 防災推進協議会
後援: 熊本県、熊本市

協力: NHK熊本放送局、NTT西日本、(株)エフエム熊本、河内漁業協同組合、熊本県社会福祉協議会、熊本市社会福祉協議会、熊本シティエフエム、熊本県農業協同組合、熊本日日新聞社、国土交通省熊本河川国道事務所、日本赤十字社熊本県支部、(社)日本損害保険協会 (五十音順)

問い合わせ先: ぼうさいカフェ事務局 上野 絵本
電話: 096-328-3926
HP: <http://boom-cafe.jp/>
*熊本県福祉推進協議会事務局
電話: 096-328-2400

チラシ

(左) スコアカード
(右) 感想・質問カード

みかん de ぼうさい スコアカード

みかんいくつもらえた? ポイント

はがきよまれた? ポイント

感想・質問カードかいてくれた? ポイント

合計 ポイント!

ぼうさいカフェ in くまもと

感想・質問をご自由にどうぞ! (書いていただいた方は、1ポイントプレゼント!)

お名前:

主催・共催・後援・協力等

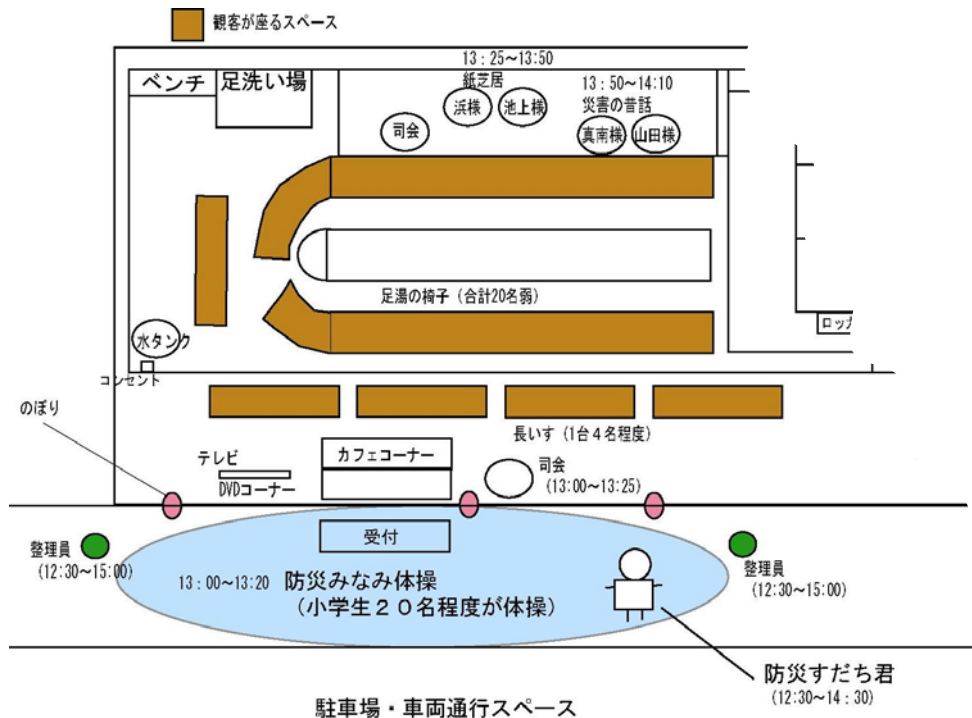
【主催】内閣府、防災推進協議会
 【後援】熊本県、熊本市
 【協力】NHK 熊本放送局、NTT 西日本、(株)エフエム熊本、河内漁業協同組合、熊本県社会福祉協議会、熊本市社会福祉協議会、熊本シティエフエム、熊本県農業協同組合、熊本日日新聞社、国土交通省熊本河川国道事務所、日本赤十字社熊本県支部、(社)日本損害保険協会 (五十音順)

報道等

【テレビ】くまもと県民テレビ (11月24日のニュース)
 【新聞】毎日新聞 (11月25日の朝刊)、熊本日日新聞 (11月27日の朝刊)

開催名称	ぼうさいカフェ in とくしま
タイトル	足湯で「ぼうさい」～おとなから こどもにつなぐ「ぼうさい」～
日時	平成 19 年 12 月 22 日 (土) 13:00 ~ 15:30 (展示 12:00 ~ 17:00)
場所	道の駅「日和佐」 <small>ひわさ</small> (徳島県海部郡美波町奥河内字寺前 493-6) 道の駅「日和佐」は、町の中心地に位置する JR 牟岐線日和佐駅と国道 55 号に接して立地しており、道路利用者だけでなく町民等も利用しやすい施設となっている。敷地内に、物産館、足湯館、産直館を備え、徳島県南部の中核観光ゾーンとして整備されている。
開催形態	人が行き交う「道の駅」開催型 地域交流の場でもある「道の駅」を利用して開催。地域住民だけでなく道の駅をふらっと訪れた一般客も気軽に参加できるよう、短い時間で見聞きできるプログラムを組合せた。 コーディネーター：池上三喜子氏（日本 YWCA 常任委員、財団法人市民防災研究所理事）、浜大吾郎氏（徳島県美波町消防防災課職員）
主なプログラム	12：00～17：00 防災に関するパネル展示【物産館 1 階】 徳島県、美波町の防災への取組や、昭和南海地震の写真等を展示した。 13：00～13：20 防災みなみ体操の実演【足湯館】 地元の日和佐小学校の 6 年生が「ぼうさい」をテーマとした体操を実演。足湯スペースで小学生と大人と一緒に体操を行った。 13：25～13：50 紙芝居「シロのないた海」【足湯館】 昭和 21 年に発生した昭和南海地震の津波を題材とした紙芝居を実演し、参加者に感想や意見を聞いた。 13：50～14：30 むかしの災害の話を聞いてみよう【足湯館】 昭和 21 年に発生した昭和南海地震の被災者 2 人が、そのときの様子や今後備えておくべきことを語った。 13：30～14：30 ゲーム「ぼうさい駅伝」【物産館 2 階】 すごろくに似た防災知識ゲーム「ぼうさい駅伝」を活用して「ぼうさい」について楽しく学んだ。ゲームの問題は、地元の要素も取り入れた問題とした。 14：45～15：30 ぼうさいしゃべり場【物産館 2 階】 これまでの感想や学んだこと等を話し合い、子供も大人も一緒になって、これからの「ぼうさい」に対する行動や意識を確認しあった。
特徴的な点 工夫した点	・道の駅という地域交流スペースと、美波町にある防災の素材を活かし、それらを組み合わせて作り上げた。 ・紙芝居は木枠に入れて実演する、紙芝居中に駄菓子を配る、足湯タオルを配布する、蓄光石を散りばめた室内でカフェを行う、など手作り感覚を重視した。

会場レイアウト (足湯館)



チラシ (表・裏)

ぼうさいのフェ in とくしま
足湯で「ぼうさい」
 ～おとなから こどもにつなぐ「ぼうさい」～

昭和21年12月21日、那覇県でも大きな被害が生じた昭和南海地震(MB.0)が発生、それから60年。今や大人への教えが必要は増えているかもしれません。そこで、地域の内外の人々の出会いの場でもある道の駅「白和佐」を会場に、さまざまな体験を通して、大人も子どもも一緒に、防災や減災について、みんなで考え、話し合ってみようと思います。どうぞ、ご家族・ご近所お誘い合わせのうえ、道の駅「白和佐」で足湯につかりながら、みんなで「ぼうさい」のこと考えてみませんか。

地域の体験 子どもの防災体験 つなぐぼうさい ぼうさいすごろくゲーム

とき: 平成19年12月22日(土) ぼうさいカフェ: 13:00~15:30 展示: 12:00~17:00

入場無料: (各会場: 最大40名程度)

足湯館 13:00~14:30
 13:00 オープニング: ぼうさいのみみ体験
 13:25 紙しばい「シロのないた海」
 13:50 わかしの災害の話を聞いてみよう

物産館2F 13:30~15:30
 13:30 すごろくゲーム「ぼうさい駅伝」
 14:45 ぼうさいしゃべり場

アンケートを通して、足湯館では、ぼうさいフェならでのプレゼントを贈っています。ぜひお申し込みください。お申し込みのうえ、お誘い合わせのうえ、道の駅「白和佐」までお越しください。

【主催】内閣府、徳島県、美波町、防災推進協議会
 【協賛】とくしま地震防災県民会議、日和田佐観光協会、美波町社会福祉協議会 (五十名程度)
 【問合せ先】ぼうさいフェ事務局 (日本ミューン株式会社) TEL:044-423-3929 HP: <http://news-016.jp/>
 ・徳島県南消防対策課 TEL:089-421-2209 ・美波町消防防災課 TEL:0894-77-3918

くわしいイベントスケジュール

12月22日(土) 道の駅「白和佐」
 会場 足湯館 オープニングセレモニー
ぼうさいのみみ体験 13:00~13:20
 白和佐小学校の児童が考案した「ぼうさい」がテーマの体験の集まり。徳島県よりマスコットの「防災すだちくん」も参加する予定です!

会場 足湯館 13:25~14:30
紙しばい (13:25~13:50)
「シロのないた海」
 昭和21(1946)年に発生した昭和南海地震の津波を題材とした紙芝居の上演

会場 物産館2F 13:30~14:30
ゲーム
「ぼうさい駅伝」
 すごろくに似た防災知識ゲームです。「ぼうさい」に関する問題に答えて、ゲームのコマをすすめて遊びます

会場 物産館1F 12:00~17:00
防災に関するパネル展示
 防災・減災に関するパネルや、昭和南海地震の写真を展示します

会場 物産館2F 14:45~16:30
ぼうさいしゃべり場 「なにをしたらいいの? これからのぼうさい」
 わたちも子ども、みんなで考えてみよう!

【問い合わせ先】
 ぼうさいフェ事務局
 一徳島県南消防対策課(TEL:089-421-2209) 美波町社会福祉協議会(TEL:0894-77-3918)
 二とくしま地震防災県民会議(TEL:044-423-3929) 日和田佐観光協会(TEL:089-421-2209) 美波町社会福祉協議会(TEL:0894-77-3918)

主催・共
 催・後援・
 協力等

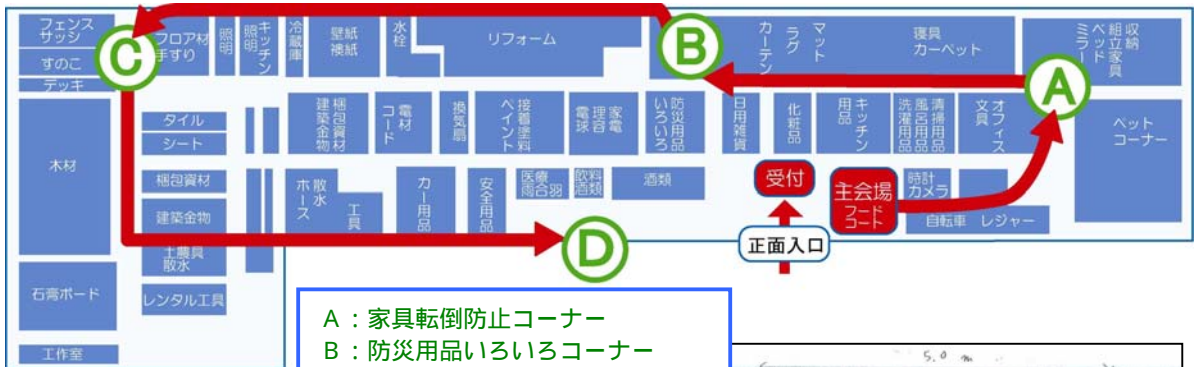
【主催】内閣府、徳島県、美波町、防災推進協議会
 【後援】とくしま地震防災県民会議
 【協力】かいふ農業協同組合、日和佐観光協会、日和佐森林組合、道の駅日和佐、美波町社会福祉協議会

報道等

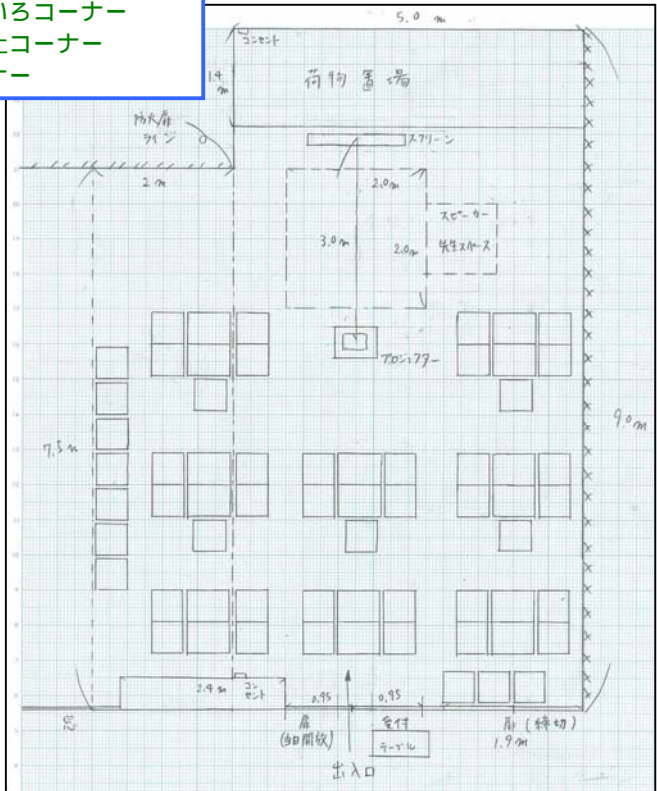
【新聞】読売新聞(2007年12月23日朝刊)、徳島新聞(2007年12月23日朝刊)
 【テレビ】NHK徳島放送局(2007年12月22日夜)
 【雑誌】救急医療ジャーナル 平成20年 NO.89 株式会社プラネット

開催名称	ぼうさいカフェ in にいがた
タイトル	じぶんでやろう！おうちのぼうさい
日時	平成 20 年 1 月 14 日（月・祝）13:00～16:00
場所	<p>コメリパワー^{こうど}河渡店 （新潟県新潟市東区河渡庚 320）</p> <p>コメリパワー河渡店は、新潟駅から車で 20 分程度のところに位置する市内最大級のホームセンターである。店内・駐車場ともにとっても広く、様々な生活用品を取り扱っている。</p>
開催形態	<p>「ホームセンター」開催型</p> <p>ホームセンターで売られている材料で作成した家の模型や、地震で家具が倒れる実験を見せながら、参加者に危機感を与えるとともに、家具固定やガラス飛散防止等の実演を実施。ホームセンター内を「ぼうさい」という観点で歩き、身近にある日用品の災害時での活用法を考えて頂いた。</p> <p>コーディネーター：福和伸夫氏（名古屋大学大学院教授）</p>
主なプログラム	<p>13：10～13：40 第 1 部 新潟市における災害 昔の地形図や地名、起こった災害からみんなが住む「まち」の地形や地盤を学んだ。</p> <p>13：40～13：50 休憩</p> <p>13：50～15：30 第 2 部 すまい・くらしの安全・安心ミニツアー ホームセンターを「ぼうさい」の視点で歩き回りながら、様々な日用品が防災に活用できることを発見して頂いた。また、ツアーの途中で「家具の固定方法」「ガラスの飛散防止」「防災用品」「地震体験」といったコーナーを設け、すまい・くらしの安全・安心に関する実演や説明を行った。</p> <p>15：30～15：45 休憩</p> <p>15：45～16：15 第 3 部 すまい・くらしの安全・安心について話そう！ 本イベントで学んだことを振り返り、質問コーナーを設けた。また、木造倒壊の実験模型を見せ、改めて耐震補強・家具固定の重要性を認識して頂いた。</p>
特徴的な点 工夫した点	<p>「第 2 部 すまい・くらしの安全・安心ミニツアー」では、防災に長けた人材がツアーコンダクターとなり、参加者と一緒に商品を触りながら店内を歩き回ること、「様々な日用品が防災に活用できる」という「発見」を促した。</p> <p>参加者に具体的なイメージを与えることを念頭に、様々な工夫をした。例えば、過去に発生した災害を具体的に説明できるように、災害写真や地形図を様々な機関から収集し、展示したり話題提供の中で見せた。また、家具固定方法を具体的に理解して頂くために、部屋の簡易模型を作成した。さらに、ホームセンターで販売している商品の中から、災害予防の観点で防災用品となるものを一同に集めた「防災用品いろいろコーナー」を設置した。</p>

会場レイアウト



- A : 家具転倒防止コーナー
- B : 防災用品いろいろコーナー
- C : ガラス飛散防止コーナー
- D : 地震体験コーナー



チラシ

ぼうさいカフェ in にいがた
じぶんでやろう！
うちのぼうさい

新潟市では地震対策が広がっており、昭和39年6月18日に発生した新潟地震では津波や地液化などにより、高い被害が原因となった。そこで市内の地震中・学芸、記事などを使って新潟市の災害についてお話しします。

13:00 Part1 新潟市における災害
 新潟市は高度Dm断層が広がっており、昭和39年6月18日に発生した新潟地震では津波や地液化などにより、高い被害が原因となった。そこで市内の地震中・学芸、記事などを使って新潟市の災害についてお話しします。

14:00 Part2 すまい・くらしの安全・安心とニッパ
 ホームセンターのさまざまなDIYコーナーで、家具の組み立てなどさまざまなくらしの安全に関する実演や説明をすることができます。

15:00 Part3 すまい・くらしの安全・安心について話そう！
 クイズ形式で体験したことを振り返り、住まいの安全に関する気づきや広島の知恵、疑問点などを専門家と交えて話します。

家具転倒防止グッズなど（参加者各名分）のプレゼント
 1「ぼうさいカフェ」と「ニッパ」の両方に申し込みのうえ、地震対策に関する説明もあわせてもらい、できることから行動を促してもらうことを目的として開催しています。くらしの安全・安心（http://houmai-safe.jp/）をぜひご覧ください。

【主催】新潟県社会福祉協議会、新潟市市民活動支援センター、新潟市社会福祉協議会、株式会社コメリ、NPO 法人コメリ災害対策センター、AGC ガラスパワーキャンペーン事務局
 【協力】新潟県社会福祉協議会、新潟市市民活動支援センター、新潟市社会福祉協議会、株式会社コメリ、NPO 法人コメリ災害対策センター、AGC ガラスパワーキャンペーン事務局

【問い合わせ】ぼうさいカフェ事務局（日本コメリ株式会社）TEL:044-872-3222 ホームページ http://houmai-safe.jp/
 新潟市市民活動支援センター TEL:256-1148 ・新潟県社会福祉協議会 TEL:256-2720

<p>主催・共 催・後援・ 協力等</p>	<p>【主催】内閣府、新潟市、防災推進協議会 【後援】国土交通省北陸地方整備局、新潟県、社団法人日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会 【協力】新潟県社会福祉協議会、新潟市市民活動支援センター、新潟市社会福祉協議会、株式会社コメリ、NPO 法人コメリ災害対策センター、AGC ガラスパワーキャンペーン事務局</p>
<p>報道等</p>	<p>【新聞】新潟日報（2008年1月15日朝刊） 【テレビ】TeNY テレビ新潟（2008年1月14日夜）、NHK新潟（2008年1月15日朝）</p>

開催名称	ぼうさいカフェ in あたみ
タイトル	“ぼうさい”について大臣と一緒に遊んで考えよう！
日時	平成20年1月16日(水)13:30~16:00
場所	起雲閣 (静岡県熱海市昭和町4-2) 起雲閣は大正8年に建てられ、数多くの文豪にも愛された由緒ある建物である。現在は、熱海市の指定有形文化財として一般公開されており、一部の施設は市民活動等にも貸し出されている。
開催形態	防災カードゲーム「クロスロード」のオリジナル問題を通じ、災害時に起こりうる様々な状況をイメージし、そのような状況になったら自分はどう行動するか、何をどう備えておいたらよいかなどを考えてもらう。 ファシリテーター：板坂孝司氏(静岡県東部地域防災局地域支援スタッフ主査)熱海市、伊東市など静岡県東部を中心に、地域防災力の向上・減災活動に従事。「クロスロード」実施について豊富な経験がある。 講師(総括):伊藤和明氏(元NHK解説委員。現在は防災情報機構会長)防災に関する著書も多数あり。国の中央防災会議専門調査会の座長の経験もある。
主なプログラム	13:30~13:40 ルール説明 13:40~14:30 クロスロードゲーム 14:30~14:40 休憩 14:40~15:00 泉防災担当大臣、齊藤熱海市長と参加者との対話 15:00~15:05 休憩 15:05~16:00 振り返り
特徴的な点 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての問題が「観光」「東海地震」に関するものになってしまうと、直接関係する参加者が多いだけに議論が深刻過ぎたり、答えづらい場合が考えられるため、気軽に答えられる問題もまぜてメリハリをつけた。 ・「耐震性」について触れる問題については、耐震化がなかなか進んでいない現状もあり、問題にするか悩んだ。しかし、「耐震化が進んでいないから取り上げない」のではなく、耐震化の重要性を知ってもらい、耐震化を進めるために必要なことについて話し合ってもらうことにも意味があるとして、問題のひとつに選定した。 ・ゲームの進め方として、テーブル毎にカードを読み上げて進めてもらうやり方もあるが、みんなで同じ問題を一緒に解いていくやり方は、時間管理がしやすく、会場の様子(盛り上り具合など)をみて進行することができる。 ・読み上げの際には、問題を聞き逃した人もいるので、パワーポイントでスクリーンにも投影し、手元には問題を書いた「クロスノート」を配布した。 ・泉防災担当大臣、齊藤熱海市長にもご参加頂き、参加者と一緒にテーブルを囲んでカードゲームを体験して頂いた。

チラシ

ぼうさいカフェ in あたみ
“ぼうさい”について
大臣と一緒に遊んで考えよう!

災害時には、私たちの日常生活では思いもよらない場面に遭遇します。毎年たくさんの観光客でにぎわう熱海市で災害が起きたとき、あなたならどうしますか？ カードゲームでYes・Noで答えながら、災害時への備えや対応をみんなでいっしょに考えませんか？

と き: 平成20年1月16日(水) 13:30~16:00
と ころ: 起雲閣(静岡県熱海市昭和町4-2)
参加費: 無料 定 員: 30名(事前申込制)
申込先: 熱海市防災室 TEL: 0557-86-6444 FAX: 0557-86-6446

泉防災担当大臣が参加!!(予定)
 泉防災担当大臣が参加して、みなさんのご意見を直接お聞きします。

「クロスロード」って何?
 『クロスロード』とは、遊び感覚でできる防災カードゲームです。カードには、災害を想定した色々な状況が書かれています。そして、自分のこたえを「YES」「NO」のカードで答えます。
さて、あなたの答えはみんなと同じ? それとも?

会場はこちら!

「ぼうさいカフェ」とは一日ごろは防災にあまり関心のない方々に、気軽な気持ちで災害や防災に関する知識にふれてもらい、できることから行動を起こしてもらうことを目的として開催しています。

【主催】 内閣府、熱海市、防災推進協議会
 【協力】 静岡県東部地域防災局、熱海市観光協会、熱海名産品協会
 【問合せ先】 熱海市防災室(土曜) TEL0557-86-6444
 ・ぼうさいカフェ事務局(日本ククニヤ株式会社 鈴木) TEL044-822-3928

ぼうさいカフェ 検索
<http://bousai-cafe.jp/>

小道具



ポイント代わりの熱海名産品



テーブルネームとネームカード

会場レイアウト



クロスロードの時



振り返りの時

主催・共催・後援・協力等	<p>【主催】 内閣府、熱海市、防災推進協議会 【協力】 静岡県東部地域防災局、熱海市観光協会、熱海名産品協会</p>
報道等	<p>【新聞】 静岡新聞(2008/1/17 朝刊)、東京新聞(2008/1/17 朝刊)、伊豆毎日新聞(2008/1/17 朝刊)、熱海新聞(2008/1/17 朝刊)、読売新聞(東京)(2008/1/17 朝刊) 【テレビ】 NHK(伊東通信部)、静岡放送(伊東支局)、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ 【ケーブルテレビ】 伊豆急ケーブルネットワーク 【ラジオ】 FM 熱海湯河原 【インターネット】 内閣府「政府インターネットテレビ」13ch</p>

(3) ぼうさいカフェヒント集

< 中央省庁関係 >	
内閣府（防災担当）	http://www.bousai.go.jp/ 最新の防災情報を公開。
中央防災会議 災害被害を軽減する国民運動専門調査会のページ	http://www.bousai.go.jp/kokuun/ 各地域の災害、被害想定や防災対策等について専門的な情報を公開。
内閣府（防災担当） 災害被害を軽減する国民運動のページ	http://www.bousai.go.jp/km/ 「一日前プロジェクト」「ぼうさいカフェ」等、様々な取り組みを紹介。災害の記録映像や写真も公開。
内閣府（防災担当） みんなで防災のページ	http://www.bousai.go.jp/minna/ 防災の取組に役に立つ情報やノウハウを提供。
総務省消防庁 防災eカレッジ	http://www.e-college.fdma.go.jp/top.html 防災・危機管理に関する情報を公開。
文部科学省 防災教育	http://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/bousai/main4_a12.htm 文部科学省の防災への取組について紹介。
国土交通省	http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html 気象、河川等の観測データ、過去の地震関連情報等を公開。各開発局、地方整備局、事務所のページでは、ハザードマップデータも公開。防災教育支援ページでは、出前講座や学習素材を紹介。 【防災情報提供センター】 http://www.bosaijoho.go.jp/ 【中部地方整備局のページ】 http://www.cbr.mlit.go.jp/kawatomizu/tenpenchii/cafe.htm 「防災サイエンスカフェ」では、有識者と対話する機会を提供。
気象庁	http://www.jma.go.jp/ 緊急地震速報の紹介や過去の災害資料、気象等の知識を公開。各気象台のページでは、地域の気象データや災害データも公開。
< 地方自治体関係 >	
都道府県庁、市町村役所	「危機管理」や「防災」を専門とする部署が設置されている。各自治体の最新の防災情報を発信しており、防災関連のリーフレットやハザードマップ等も配布している。
防災センター	各自治体の防災センターでは避難体験や防災講座等を開催している。無料で受講できるものもある。
消防局、消防本部	消防や救急の応急処置等について、講習会を開催したり教育ビデオの貸し出し等も行っている。

図書館 (都道府県市立、大学)	地域の災害史や災害について書かれた書籍も所蔵されている。市町村史には、過去の災害について書かれている項目がある。
都道府県市区町村 社会福祉協議会	災害時ボランティアセンターを立ち上げ被災地支援を行っている。防災への取り組みを集めることができる。
地域の有識者	その地域で起きた災害の体験談を聞くことができる。森林組合、農協、漁協等に相談し、詳しい人を探してみるのも一案。
< 学校関係 >	
教育機関	理科や社会の先生、またその他の教科でも地域の災害等に詳しい先生がいる。
名古屋大学 福和研究室	http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/~fukuwa/ 振動実験教材「ぶるる」で建物の耐震構造をわかりやすく説明。
群馬大学 片田研究室	http://dsei.ce.gunma-u.ac.jp/ 津波防災教育ツール「津波のいろは」他の開発。
慶應義塾大学 吉川肇子研究会	http://maechan.net/crossroad/ 防災カードゲーム「クロスロード」の様々な利用法について紹介。
< その他 一般企業、報道機関等 >	
全国地域婦人団体連絡協議会	http://www.chifuren.gr.jp/index.htm 地域主体のボランティア・市民活動を積極的に行っている。
日本生活協同組合連合会	http://jccu.coop/info/activity/disaster_relief/ 「ぼうさいカフェ in きょうと」「ぼうさいカフェ in せんだい」「ぼうさいカフェ in たちかわ」を内閣府と共同開催。
全国労働者共済生活協同組合連合会	http://www.zenrosai.coop/zenrosai/topics/detail/3758.php 「ぼうさいカフェ in よよぎ」「ぼうさいカフェ in ひらかた」等を開催。
社団法人 日本損害保険協会	http://www.sonpo.or.jp/protection/bousai/ ぼうさい探検隊マップコンクールや、シルバー「ぼうさい探検隊」プログラム、幼児向けカードゲーム「ぼうさいダック」等、防災教育への取り組みを行っている。
日本赤十字社	http://www.jrc.or.jp/active/saigai/index.html 災害救護活動や義援金、ボランティア活動の情報を公開。
テレビ局、ラジオ局 新聞社	災害の映像や情報、防災への取り組み情報を集めることが可能。また、イベント開催時の広報に協力してくれる場合もある。
ライフライン各社 (電気、ガス、電話等)	防災に関する取り組みを紹介するリーフレット等を作成している。

“ぼうさいカフェ”を
開いてみませんか？



【発行・問合せ先】

内閣府「ぼうさいカフェ」事務局

内閣府 災害予防担当 国民運動担当

〒100-8969 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 5号館

TEL : 03-3503-9394 FAX : 03-3503-8933

【編集】

日本ミクニヤ株式会社 <http://www.mikuniya.jp/bousai-cafe/>
